

道営事業の活用により、東泊津・大富地区を対象に、改良舗装を目的とした「道営農村整備事業」が継続されることとなっておりますほか、「緊急自然災害防止対策事業債」を活用し、排水施設の改修工事を適宜行い、道路施設の予防保全、減災対策などに努めて参ります。

また、橋梁の長寿命化工事につきましても、国庫補助事業を活用し、修繕や改修事業を継続して参ります。

次に地域公共交通の確保対策についてです。



A | デマンド運行実証事業前に行われた説明会の様子

コロナ禍を経た今、その運行体系は最適化を求められています。当町においては、長く定時定路線をもって運行していた地域巡回バスは、利用者の有無に関わらず運行することから効率化の検討が急務な状況にあったため、改善策の協議検討を重ねた結果、予約運行方式であるデマンド運行が事業経費軽減と利用者の利便性向上につながるかと判断し、事業化への取り組みを始めたところです。

震が相次ぎ、当町においても沿岸地域に津波警報が発表されました。その際の避難対応を通じて浮き彫りとなった避難所における暑熱対策や、高台避難時における車両混雑への対応など、現場の課題に即した防災体制の強化に努めて参ります。



節婦生活館横に建設中の「津波避難タワー」

また、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による大津波の発生が切迫する中、ハード面の対策も着実に進めて参ります。

特に、津波避難対策が急務であった節婦町地区におきましては、令和6年度より着手しました「津波避難タワー」の建設工事が、本年度に完成を迎える予定であります。完成後は速やかに供用を開始するとともに、地域住民の皆さまと連携した実践的な避難訓練を実施し、施設を最大限に活用した「誰もが安全に避難できる」体制の構築に努めて参ります。

これらハード・ソフト両面からの対策を推し進め、災害に強く、誰もが安心して暮らせる強靱なまちづくりに、全力を挙げて取り組む所存であります。

現在、デマンド運行が新冠町の交通環境に適応可能かどうかを判断する実証事業として運行していますが、令和8年度からは、本格運行として事業推進することとしています。

また、ソフト面におきましては、自主防災組織となる各自治会への活動支援を継続し、地域防災力の底上げを図ります。

4 安全で安心して暮らせるまちづくり  
昨年は青森県東方沖を震源とする大規模地震など、日本各地で地

また、ソフト面におきましては、自主防災組織となる各自治会への活動支援を継続し、地域防災力の底上げを図ります。

交通安全の防止には、一人ひとりが人命の尊さを認識し、日常生活を通じて自主的に交通安全に取り組む必要がありますが、そのためには、交通安全意識の高揚を図ることが必要です。

など、総合的な交通安全対策に努めて参ります。

さらに、町民生活の安全の確保、地域の安全の確保に向け、防犯協会や関係機関と連携を図り住みよいまちづくりを目指して参ります。

5 力強く安定した産業づくり

①農業  
はじめに、農業の振興について

令和8年度は、第7次農業振興計画の最終年度にあたりますが、基本方針に基づいた施策を推進することと併せて、次期農業振興計画の策定に關しましては、各生産分野における諸課題の解決に向け、農業団体や関係機関、各生産振興会の協力をいただき、策定事務を取り進めて参ります。

また、新規就農対策においては、独立就農した農業支援員に対するサポート体制を維持し、経営安定に向けた支援を図って参ります。

水稲・畑作部門におきましては、水田の畑地化が促進されておりますが、安定的な農産物の生産に向け、引き続き制度の周知と円滑な推進に努めて参ります。

また、施設園芸作物では高温化に対応するための自動換気設備などの設置を推進し、生産数量の確保に向けて取り組んで参ります。

肉用牛の振興につきましては、生産馬販売対策への町独自支援を継続し、新冠産馬の販売向上に繋げると共に、地方競馬の協賛レースの実施を通じ、馬産地新冠のPRに努めて参ります。



町有牧野への入牧の様子（育成牛の預かり放牧）

酪農振興につきましては、乳牛検定組合や酪農ヘルパー組合の運営支援を継続するとともに、町有牧野での預託事業を通じ、生産現場における自給飼料や労働力不足の解消を図り、放牧管理を介した家畜の健康増進に努めます。

③有害鳥獣対策  
次に、有害鳥獣対策についてです。

軽種馬振興につきましては、生産馬販売対策への町独自支援を継続し、新冠産馬の販売向上に繋げると共に、地方競馬の協賛レースの実施を通じ、馬産地新冠のPRに努めて参ります。

次に、有害鳥獣対策についてです。有害鳥獣による農作物の被害につきましては、高止まり傾向にあります。

酪農振興につきましては、乳牛検定組合や酪農ヘルパー組合の運営支援を継続するとともに、町有牧野での預託事業を通じ、生産現場における自給飼料や労働力不足の解消を図り、放牧管理を介した家畜の健康増進に努めます。

特にヒグマ生息域の拡大による市街地近郊での出没増加が懸念されており、人の生活圏域への侵入を防止するゾーニング対策を推進するほか、警察や地元猟友会など関係機関との連携・協力により有害鳥獣全般の駆除対策に取り組んで参ります。

④林業  
次に林業の振興についてです。町有林におきましては、本年度も森林経営計画に基づき伐期を迎えた人工林の皆伐のほか、植林や下刈り、間伐など適切な森林整備に努めて参ります。